



うれしい七草祝

重富地区公民館

よいこになりますように

.....元気で成長しましょう。



No. 195号 昭和56年1月15日発行

梅木 逸郎

.....おもな内容.....

新年を迎えて.....	2
12月定例町議会.....	3
昭和55年度上半期財政事情.....	4 ~ 5
近畿始良町会.....	6
第1回農業祭.....	7
国際障害者年.....	8
かぜにご用心.....	9
成人式・消防出初式.....	10
本町を九州全土に紹介.....	11
63年ぶり里帰り.....	12
おねがいします民生委員さん.....	13
お知らせ.....	14

町の人口動態

(12月31日現在) () 内は前月比)

世帯数	10,686戸 (+ 16戸)
人 男	15,509人 (+ 40人)
女	17,186人 (+ 46人)
口 計	32,695人 (+ 86人)
12月の	{ 出生 39人 死亡 28人 転入 207人 転出 132人

発行 鹿児島県始良町
編集 総務課
① 899-54 ② 09956 ③ 3111
鹿児島県始良郡始良町宮島町25番地

梅木 逸郎

迎 春

進言と英知を結集

町民と手作りの町を



始良町長

岩根清春

始良町長

岩根清春

町民のみなさまのご無事でのご越年をお慶び申し上げ、輝やかに一九八一年の酉（とり）年を心からお祝い申上げます。

古風な表現かとも思いますが、町民のみなさま如何なる運勢の中で、わたくしどもは日々おくるべきなので

静かに己れをみつめ、生きたドラマを反省し、町政のあるべき姿、進むべき方向を見い出し、自覚と決意を新たにいたしていります。

国内外の経済情勢は極めて苛酷で、人口急増の町として、多様化する住民ニーズと行政の責任のもとで各分野ごとに的確に把握し「地方の時代」にふさわしい地域社会づ

くりを強力に推進してまいる次第であります。昨年の始良小学校の開校は、思い出としても深く長く私の心に残ることであります。関係者のご協力に心から感謝いたします。現在、進行中であります。が、昨年始良、溝辺、加治木の三ヵ町に県民の森の創設が決まりました。これから地権者のかたや、多くの関係者のご協力を得なければなりませんが、「一人は万人のために、万人は一人のために」のこと

私は常日頃「人間の幸せはどういうことであろうか」と真の幸せを追いながら生き甲斐とし、無限の可能性を信じて生き抜くべきではないかと存じます。新春に雑感を述べましたが、今年も気軽に町長室に出入りしていただき、進言と英知を結集して町政推進に努力してまいりたいと存じます。町民みなさまのご健勝と、ご多幸を祈念して新年のごあいさつといたします。

地方自治の確立を 議決機関の機能を十分發揮



議會議長

森川重男

国は本年を「財政再建元年」とし、今後数年間は、財源不足が続きそうであるので、後戻りせず、前向きの方向で進まねばならないと、いっておられます。一方町民の町政に対する要望はますます高まっております。このような情勢下で迎えた、昭和五十六年は始良町にとっても、極めて重要な年になろうと思われます。人口急増のわが町は、都市基盤の確立により、近代的な調和

輝かしい昭和五十六年の新春を町民みなさまとともに元気でお迎えできることを心からお慶び申し上げます。八〇年代は「地方の時代」といわれ地方自動化を進めいく時代と考えます。新しい地方制度が発足して三十年を経過しましたが、この間、地方自治はたゆまなくめざましい発展をとげてまいりました。

昨今は打ち続くインフレと不況により地方財政は、ますます深刻化の様相を呈しつつあります。

福社の充実等の実現のために、四つの特別委員会を設置して真剣にとり組んでおります。また、国県に対しましては、その対策を強く働きかけるとともに、町の執行機関とは、相協調して、財政の許す限り、最大の行政効果をあげるために、一丸となって、住民福祉のために、なお一層の努力をすべき年であると考えます。

議会は、みなさまを代表する議員で構成する、議決機関でありますので、その機能を十分發揮し、使命を果たして町民みなさまのご期待に、そういう努める所存であります。本年もより一層のご支援ご協力をお願い申しあげまして、新年のごあいさつといたします。



北山木場地区の給水条例制定

一億四、六一六万円の追加額補正

一般会計 四七億八、五七九万円に

第四回町議会定例会は、始良町飲料水供給事業の設置及び管理に関する条例の制定など十八件の議案と一件の諮詢について十一月十六日から十一月二十一日までの会期五日間で審議が行われ、提案された全ての議案が原案どおり可決されました。

可決された主なものは次のとあります。

町飲料水供給事業の設置及び管理条例に関する条例
今回制定された飲料水供給事業の設置及び管理に関する条例は、飲料水供給事業の設置並びに給水についての料金及び給水装置工事の費用負担やその他の供給条件並びに給水の適正化を保つために制定されたものであります。

この条例が適用されるのは、今まで生活用水に困っていた北山木場地区の給水区域だけです。

関連記事八ページをご参考ください。

人事院勧告に伴なう国家公務員の給与改定に準じて、地方公務員の給与も平均四・六一パーセント引き上げられ改定されたものです

特別職の職員・教育長の給与に関する条例の一部改正並びに議会議員の報酬、費用弁償及び手当等に関する条例の一部改正

今回の条例の一部改正により、町長・助役・収入役・教育長及び議会議員の月額報酬が最低で五・四一ペーセント、最高六・六七ペーセント引き上げられました。

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更
昭和五十二年に議決された高牧・飛野・日本金辺地に係る総合整備計画の中で、道路整備事業の一項変更であります。

いすれもこう配が甚しい坂道や未改良の道路が多い地域で、交通の便が悪く、道路の改良や舗装を必要とし危険カ所を解消しようとするものです。また北山辺地においては、飲料水供給事業導入し、地区民の健康管理面や食生活の改善をはかって、他の地域との格差をなくしようとするものです。

工事請負契約締結の変更

重富小学校屋内運動場増改築工事において、地質調査の結果土質に非常にむらがあり、基礎杭の長さが設計許容支持力を得られない箇所やオーバーする箇所ができたため、設計許容支持力の得られる杭の長さに変更したため、工事請負金額を百六十三万円追加して請負契約を締結するものです。

この変更によって、重富小学校屋内運動場増改築工事費は一億三千四百八十一万円となりました。

「暴力追放宣言の町」宣言

多種多様化する経済状勢の中で青少年の非行が年々増加の傾向にあり、そのうえ暴力団も本町に進出する「スキ」をねらっているといわれております。

これらを併せて暴力行為を未然に防止しようとする主旨で提案されましたのです。

町内の各種機関団体にお集りを

願って「暴力追放宣言の町」を宣言し、広く町民と一丸となって運動を推進していくことにしていました。

昭和五十五年度町一般会計補正予算

歳入・歳出それぞれ一億四千六百十六万円を追加し、予算総額四十七億八千五百七十九万円となりました。

追加補正された主なものは、歳入で地方交付税の五千三百二十五万円で予算額十二億四千五百三十五万円で予算額四億二千五百三十三万円となりました。

歳出においては、農林水産業費の中では始良第三工区土地改良事業精算金五千十四万円、船津上揚水機改修工事費一千四百七十万円、新農業構造改善事業による三船地区研修センターの研修室用備品購入費六百二十六万円等が主なものとして農業費七千四百十四万円を追加補正されました。

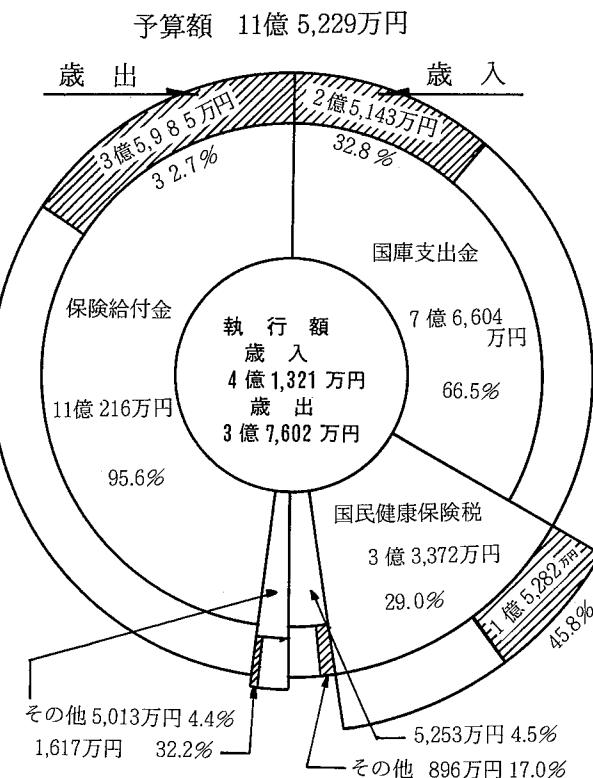
また、民生費の中で老人医療扶助費二千百十二万円を含む社会福祉費に二千四百八十七万円、児童福祉施設扶助費一千三百四十四万円を含む児童福祉費に一千七百四十万円が補正されました。

総務費では、役場本庁のカウンターの改造等に八百一十万円を含む財産管理費や一般管理費等を合せ一千九百三十一万円が主な補正額です。

教育費においては、小学校費が一千八百七万円追加補正されました。

昭和55年度

国保事業



水道事業

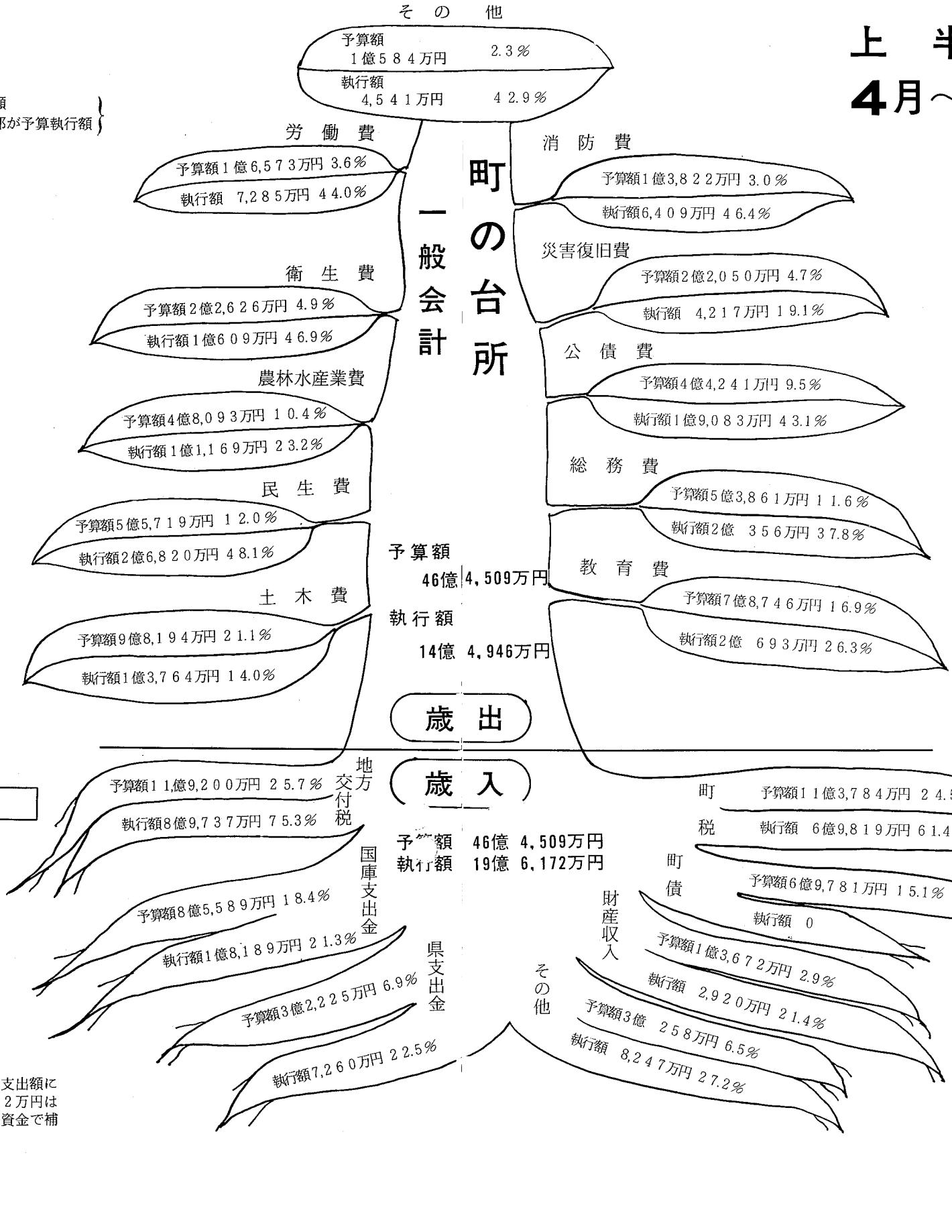
○○○○収益的収入及び支出○○○○

収入	予算現額	2億 4,193万円
支出	予算現額	1億 303万円

○○○○資本的収入及び支出○○○○

収入	予算現額	6.37万円
支出	予算現額	2,429万円
予算執行額	予算執行額	0円

資本的収入額が資本的支出額に
対し不足する額 1,792万円は
当年度分損益勘定留保資金で補
てんするものです。



田づくりを進めるには、町の台所を知ることが重要なものです。昭和五十五年第一回町定例議会で当初予算が可決され、上半期(四月から九月まで)の事業が各分野で推進されてまいりました。一年間で、財政の運営状況を周知してもらうために「財政事情の公表」が行われています。昭和五十四年度決算は前号で公表しましたので、今回は昭和五十五年度上半期の財政状況について報告いたします。左の図表をご参照してください。

歳入、歳出の予算規模はそれぞれ四十六億四千五百九万円で、予算の執行状況は歳入で四二・二パーセントの十九億六千七百七十二万円、歳出で三一・二パーセントの十四億四千九百四十六万円になります。歳入、歳出の主なものを説明します。歳入の予算規模では地方交付税がトップで、歳入全体の二五・七パーセント、次いで町税の二四・五パーセントであり全体の半分を示しています。町の借金である町債は六億九千七百八十一万円で上半期の執行は

ありませんでした。歳出では、都市下水路整備、道路等の整備、公営住宅建設、地方工事を行なう土木費が最高で予算九億八千九十四万円、次いで重富小・姶良小の屋体建設で佐小窓枠取替等の工事を行なう教育費が歳出予算の約一七パーセントを示める七億八千七百四十六万円です。民生費五億五千七百十九万円の中には、児童福祉施設、児童手当老人医療等の扶助費が主なものとして含まれています。農林水産業費は歳出総予算額の一〇パーセント余りであり、三又の集会場施設工事費が大きなもの

です。衛生費の中では、チリ・ゴミの処理費が予算額の二億二千六百二十六万円の約半分をついで、北山本場地の飲料水供給施設費もこの衛生費の中に含まれています。総務費は、本庁の窓枠取替工事費が含まれています。予算の執行状況は、図表をご照ください。

特別会計

国保(国民健康保険)事業勘定と水道事業の二つの事業会計を掲載しましたが、紙面の都合で説明は省略します。

ありませんでした。

歳出では、都市下水路整備、道路等の工事を行なう土木費が最高で予算九億八千九十四万円、次いで重富小・姶良小の屋体建設で佐小窓枠取替等の工事を行なう教育費が歳出予算の約一七パーセントを示める七億八千七百四十六万円です。民生費五億五千七百十九万円の中には、児童福祉施設、児童手当老人医療等の扶助費が主なものとして含まれています。農林水産業費は歳出総予算額の一〇パーセント余りであり、三又の集会場施設工事費が大きなもの

です。衛生費の中では、チリ・ゴミの処理費が予算額の二億二千六百二十六万円の約半分をついで、北山本場地の飲料水供給施設費もこの衛生費の中に含まれています。総務費は、本庁の窓枠取替工事費が含まれています。予算の執行状況は、図表をご照ください。

一般会計

田づくりを進めるには、町の台所を知ることが重要なものです。昭和五十五年第一回町定例議会で当初予算が可決され、上半期(四月から九月まで)の事業が各分野で推進されてまいりました。一年間で、財政の運営状況を周知してもらうために「財政事情の公表」が行われています。昭和五十四年度決算は前号で公表しましたので、今回は昭和五十五年度上半期の財政状況について報告いたします。左の図表をご参照してください。

歳入、歳出の予算規模はそれぞれ四十六億四千五百九万円で、予算の執行状況は歳入で四二・二パーセントの十九億六千七百七十二万円、歳出で三一・二パーセントの十四億四千九百四十六万円になります。歳入、歳出の主なものを説明します。歳入の予算規模では地方交付税がトップで、歳入全体の二五・七パーセント、次いで町税の二四・五パーセントであり全体の半分を示しています。町の借金である町債は六億九千七百八十一万円で上半期の執行は

ありませんでした。歳出では、都市下水路整備、道路等の整備、公営住宅建設、地方工事を行なう土木費が最高で予算九億八千九十四万円、次いで重富小・姶良小の屋体建設で佐小窓枠取替等の工事を行なう教育費が歳出予算の約一七パーセントを示める七億八千七百四十六万円です。民生費五億五千七百十九万円の中には、児童福祉施設、児童手当老人医療等の扶助費が主のものとして含まれています。農林水産業費は歳出総予算額の一〇パーセント余りであり、三又の集会場施設工事費が大きなもの

です。衛生費の中では、チリ・ゴミの処理費が予算額の二億二千六百二十六万円の約半分をついで、北山本場地の飲料水供給施設費もこの衛生費の中に含まれています。総務費は、本庁の窓枠取替工事費が含まれています。予算の執行状況は、図表をご照ください。

一般会計

田づくりを進めるには、町の台所を知ることが重要なものです。昭和五十五年第一回町定例議会で当初予算が可決され、上半期(四月から九月まで)の事業が各分野で推進されてまいりました。一年間で、財政の運営状況を周知してもらうために「財政事情の公表」が行われています。昭和五十四年度決算は前号で公表しましたので、今回は昭和五十五年度上半期の財政状況について報告いたします。左の図表をご参照してください。

歳入、歳出の予算規模はそれぞれ四十六億四千五百九万円で、予算の執行状況は歳入で四二・二パーセントの十九億六千七百七十二万円、歳出で三一・二パーセントの十四億四千九百四十六万円になります。歳入、歳出の主なものを説明します。歳入の予算規模では地方交付税がトップで、歳入全体の二五・七パーセント、次いで町税の二四・五パーセントであり全体の半分を示しています。町の借金である町債は六億九千七百八十一万円で上半期の執行は

ありませんでした。歳出では、都市下水路整備、道路等の整備、公営住宅建設、地方工事を行なう土木費が最高で予算九億八千九十四万円、次いで重富小・姶良小の屋体建設で佐小窓枠取替等の工事を行なう教育費が歳出予算の約一七パーセントを示める七億八千七百四十六万円です。民生費五億五千七百十九万円の中には、児童福祉施設、児童手当老人医療等の扶助費が主のものとして含まれています。農林水産業費は歳出総予算額の一〇パーセント余りであり、三又の集会場施設工事費が大きなもの

です。衛生費の中では、チリ・ゴミの処理費が予算額の二億二千六百二十六万円の約半分をついで、北山本場地の飲料水供給施設費もこの衛生費の中に含まれています。総務費は、本庁の窓枠取替工事費が含まれています。予算の執行状況は、図表をご照ください。

一般会計



自己紹介に拍手



近畿始良町会の旗のもとで新・旧会長さんを囲んで



あいさつする岩根町長
(さつま織維専代表取締役・西之妻出身)

表の町職員三人と、今年度は特に
町職員互助会の代表三人の計七人、
また、議会の代表として森川議長
が出席しました。

総会では、昭和五十五年度の事
業報告、収支決算等が報告され
すべて承認されました。

続いて役員改選に入り、
新しい会長に吉川水憲氏
(さつま織維専代表取締役・西之妻出身)
が選出されました。

根町長は「故郷を離れて
総会の中で岩根町長は「故郷を離れて
が選出されました。
が選出されました。

『故郷』誰もが幼い頃
の思い出があることでし
ょう……。郷里を離れた人たちの
心のやすらぎは同郷の人
とめぐり合い、話しあう
ことではないでしょうか。

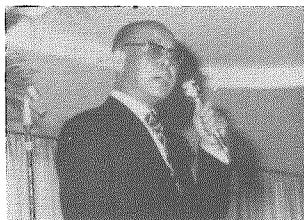
本町の出身者で近畿地
方に在住されるかたがた
が、「近畿始良町会」を作
り、毎年再会を楽しみな
がら近況を話しあってい
ます。昭和五十五年度も
総会が盛大に行われ
ました。

本町からも岩
根町長を始め
各地区の代
表が出席し、定期
総会が盛大に行われ
ます。昭和五十五年度も
去る十一月十六日大阪市
北区の重慶飯店で、約二
〇〇人が出席し、定期
総会が盛大に行われ
ました。

本町からも岩
根町長を始め
各地区の代
表が出席し、定期
総会が盛大に行われ
ました。

各分野で成
功され立派に
活躍されておら
れることに心から
敬意を表します。郷
の町として、鹿児島市に
隣接する都市へと発展して
います。いつまでも郷里を忘
れず、お互い手を取り合って
頑張りましょう」と激励のあいさ
つを行いました。

また、森川議長からも激励のこ
とばかり、参加した人たちから
郷里のなつかしさを訴えていまし
た。



新会長の吉川水憲氏

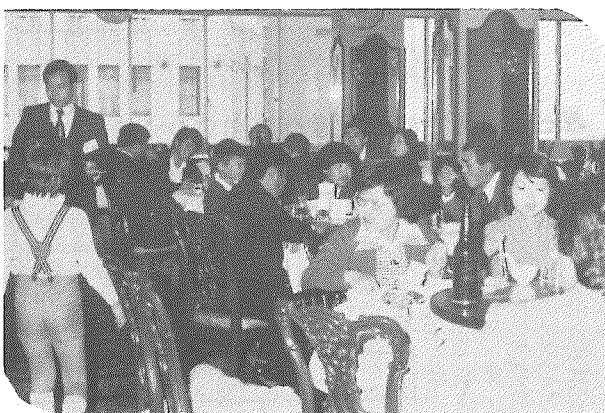
はばたけ
本町近畿始良町会

総会後懇親会が開かれ「おはんな今どきお
はなつとな」「だいさあこあしたけな」など
やつとも忘れるほど
鹿児島弁まで飛び出す
和氣あいあいで、時間
のたつのも忘れるほど
の盛会でした。

最後に新会長の万歳
三唱で、来年も元気で
再会を約し終了しまし
た。



記念して1枚…パチリ



おお！元気でしたか…。

農業に理解と关心を

(第1回農業祭)



きびしい やさい品評会審査風景

人口増加とともに田・畑が宅地化され、農業に対する関心がうすれつつある中で、生産者と消費者が一体となつて心をつなぐ第一回農業祭が、中央公民館で盛大に行われました。十二月六・七日の両日、農林業団体が一丸となつて盛り沢山の催し物や式典を開催し、連日大にぎわいでいた。

各会場とも珍しいものが多く、立ち寄った熱心な人々はパネルに書かれた事柄を一つひとつノートに写す婦人の姿もみ受けられました。見るコーナーでは、町内の各地で生産された、白菜・大根キヤベツ等が大会議室に一堂に集められ、やさい品評会が行われました。審査に当たった技術員のかたがたは、「町内にも立派に商品価値されるやさいが多く育つことを立証してくれました。今後の農政に反映して技術の向上に努めていただきたい。どの品も甲・乙つけがたいすばらしい品ばかりで審査に困りました」と述べられました。

農機具展では、苦勞した昔の農業をしみじみかみしめるように、手にとって古農具の使い方を孫たちに教えてくる風景もみられました。また一方若い者たちは現代農業の先端をゆくトラクターやコンバイン等に実際に手を触れ夢をふくらませていました。

畜産コーナーでは、茹卵のサビスや乾燥鶏糞の無料配布等が行われ、始良養鶏主産地であることを再確認してもらい、鶏卵の消費で詳細に説明されました。

生活改善コーナーでは、郷土料理や簡単にできる子どものおやつ作りなどの実演ならびに試食会が行われ栄養改善に力を注ぐよう呼びかけていました。

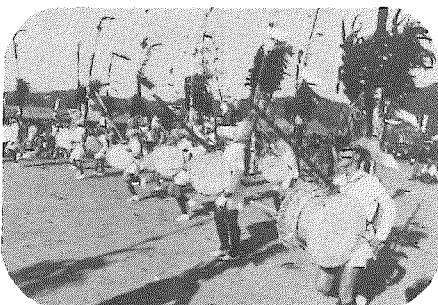
林産コーナーでは庭先で「生シタケ」の栽培を呼びかけ、シイタケ菌の打たれた原木の販売や床柱の展示がなされた他、緑化樹や盆栽用鉢物類に人気が集まり、即売されました。

消費コーナーでは式典で「おぎり」の無料配布をし米の消費拡大を呼びかける一方、生活改善グループによる「そばまんじゅう」の盆栽用鉢物類の人気が集まり、即売されました。

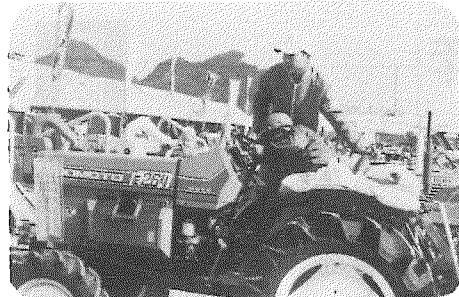
式典で町長は、「農業と言ふ言葉がだんだんすたれていく本町において、農林業の各関係者の努力により農業祭が開催されたことは意義深いものがあります。今後も明



この大木にシイタケ菌が打たれているのですよ…

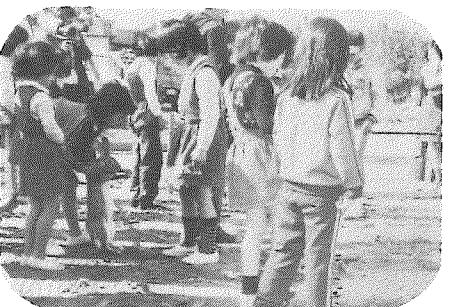


農業祭を盛り上げた春花の太鼓踊り



大きくなつたらこんな大型機械で…。

見られない関係者的研究成績がパネルや標本、図表等で詳しく説明されました。

カワイ… 小動物とたわむれる
“チビッ子広場”

青空の下で この“うどん”おいしい…

日を信じて農業の繁栄に努力してくださり」と激励しやさい品評会の優等者に表彰状を手渡していました。

激励にかけつけた来賓の祝辞の中、「始良町の農業は、鹿児島市の近效地として反収の上がる転作目を何にするか、老齢者の保有する耕地はどうするか、北部の畜産の振興は、田の土づくりは、若手の後継者の少ない問題」など一つひとつを取り上げながら改善の道を歩くことの大切さを呼びかけていました。

これらの激励に答え、自立農家の今村君雄君(船津)が「立地条件を生かし活氣ある農村社会を建設するようがんばります」と力強く宣言し式典は終りました。

式典後、会場では千石和之先生(国分実業校長)の記念講演が行

われ、「農業を次代に継ぐにはどうすればよいか」と学習が重ねられお互いに研修しました。

この第一回農業祭を機に、いろいろな厳しい農政を見直すために生産者と消費者が農業に対する理解と関心をもつて豊かなむらづくりを推進していくたいものです。



みんなが参加し みんなが平等に暮らせる よりよい社会づくりを

昭和56年
(1981年)

障害をもつ人の
社会への完全参加と平等



(テーマ)完全参加と平等

国際障害者年

わが国では、約三五〇万人以上の人人が心身に障害をもっていると推定されています。

障害者とは、病氣あるいは事故などのために身体的精神的な機能が損なわれ、自分自身では通常の個人生活や社会生活を完全に、または部分的に行えない人をいいます。

わが国には、大きく分けて身体障害者二一〇万人、精神薄弱者約四〇万人、精神障害者約一〇〇万人等数多くの障害者がいると推計されています。

また、平均寿命が延び、高齢化社会が進むにつれて脳卒中の後遺症等による障害者が増えるとともに、交通事故や労働災害等による障害者が年々増加する傾向にあります。

わたしたちの誰もが障害者になる可能性をもっている……といつても言い過ぎではありません。障害者問題は、単に障害をもつ人だけでなく、われたまに障害者になる可能性をもつ人、つまりは、幅広い社会的な連帯意識をもって解決していかなければなりません。

昭和五十六年一 今年は「国際障害者年」です。

昭和五十一年の国連総会で決定された世界的規模の行動で、テーマは「障害をもつ人の社会への完全参加と平等」です。

障害をもつ人に対する理解と関心を深め、みんなが参加し、みんなが平等に暮らせるよりよい社会づくりをしようという年です。

「国際障害者年」に当つて、みんなで考えましょう。

周囲の葉は、国連の紋章の一部です。

きれいな水が飲める 木場地区に簡易水道完成

地区の人たちの夢であった「衛生的な飲料水」を早く設置してほしいと念願していた北山木場地区に簡易水道施設が十二月三十一日完成しました。

昭和五十六年一月一日の元旦に地域の人たちの「念願」がかなったのです。

北山木場地区は役場本庁から北へ約二十三キロ離れた所で、周囲は四方とも山に囲まれた山間地で農業・林業を主業とする農家が点在している地域です。山間地に囲まれた木場地区は、水道施設がなく毎日山あいの傾斜地より少量の水を頼りに私設水道を設置し生活していました。

私設の水道施設は、ろ過施設や滅菌設備がなく保健衛生面からも非衛生的な状態でした。

地区の人たち九〇人は、「小規模な水道施設」でもと、日夜努力を重ね県下でも有名な鳥帽子岳西側にある地区民共(有)林の中腹海拔五四九メートルの地点に飲料水に適した湧水があることをみつけ、これを原水としたものです。

昭和五十五年八月二十二日から昭和五十六年二月二十八日までの工期一九一日間で、総工費二千九百五十三万円を投じ、導水管四一五メートル、配水管三、二三五メートル、給水管四八〇メートル、総延長四、一三〇メートルの集落ごとの小規模な共同給水施設工事が行われたのです。この水道施設の完成で地区の人たちは「これできれいな水を十分に飲める」と蛇口をひねりながら喜んでいました。

また、この水道は水源地があるためポンプで各家庭に配水するのではなく、直接水源地から配水管を通して家庭の蛇口に達しているのです。水道料金も一〇トン当たり八百円で、低廉で豊富な水として使用されています。

インフルエンザにご用心

＝予防が大切＝

栄養バランスと休養を

かぜをひきやすい季節です。

毎冬猛威をふるうインフルエンザは、まず予防を心がける

ことが大切です。

予防法としては、予防接種などの措置が有効なのはもちろんですが、最も重要なのはもはやんから自分の体に抵抗力をつけておくことが大切で、適度な運動で体力を維持し皮膚を丈夫にして、体温の保持をよぐする人ひとりの衛生管理が必要です。

★インフルエンザの予防

とにかくないための栄養補給



身体の調子はどうですか…。

などのことを心掛けましょう。

また、流行時の外出は、感染機会をふやすだけでなく、ほこりや冷たい外気がのどを痛めます。特

に老人や妊婦、乳幼児など体の抵抗力の弱い人は無用の外出を避けましょう。外出したときは帰宅後すぐうがいをしましょう。

○薄着や乾布まさつの習慣で皮膚をきたえて体温の保持をよくする

○バランスよく栄養をとる

などのことをふだんから心掛け、

○規則正しい日常生活で体調を保つ

○過労にならないよう注意する。

睡眠を十分とり、栄養と休養のバ

ランスをはかる

○汗をかいたときはこまめに下着

をとりかえる

★インフルエンザ

にかかるたら

卵酒も効果的

卵かかったかな の手当て

インフルエンザにかかった場合は、何はともあれ安静を保つことが大切です。症状がひどい場合はすぐに医師の診療を受けてその指示に従ってください。要は、短期決戦に徹することです。中途半端にぐずぐずしていると、いたずらに体力を消耗し、結局こじらせて何日も寝こんでしまうこともあります。

また、インフルエンザにかかっているのに外出するということは体力を消耗して病状を重くしてしまって、ウィルスをまきちらすことになり、まわりの人には大きな迷惑をかけます。インフルエンザにかかったときは外出はできません。具体的には、

○運動などで身体をきたえる

『一家の柱・働き盛り』を襲う

中高年

亡くなる100人のうち65人までが成人病です

わが国は、いまや世界一の長寿国になりましたが、その一方で脳卒中、がん、心臓病などのいわゆる成人病で亡くなる人が年々増えています。

昭和五十四年の「人口動態統計」(厚生省)によりますと、

死亡者の約六五パーセント一つまり百人のうち約六十五人までが成人病で亡くなっています。

成人病と一緒に脳卒中、心臓病など、いわゆる循環器系の成

病は、中年を過ぎると急に増える慢性病の一つで、高血圧や動脈硬化が主な原因ですが、家庭では一家の柱、職場では働き盛りの年齢層を襲うところにその怖さがあります。

昭和二十六年以来、三十年間

にわたって日本人の死因の第一位を占めてきた脳卒中と、がん

に次いで、死亡順位。三位の心臓病について、その症状を説明します。

いわゆる「中風」は、脳卒中の後遺症から手足のマヒや知能障害が起き、脳の細かい動脈が破裂したり、詰つたりするものです。

いわゆる「中風」は、脳卒中の後遺症から手足のマヒや知能障害、精神障害をきたしています。

脳卒中

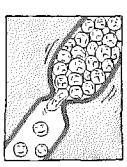
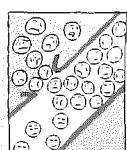
脳の細かい動脈が破れたり詰まる

「人間は血管とともに年をとる」とよくいわれます。

脳卒中とは、脳の血液の流れに障害が起き、脳の細かい動脈

が破裂したり、詰つたりするものです。

脳卒中には「脳出血」「脳梗塞」「クモ膜下出血」などがあります。



心臓病

冠状動脈が狭くなつたり、詰まる

心臓は、わたしたちが生きて

いる限り、片時たりとも休むこ

となく、血液を全身に送り出す

大切なポンプの役目をしていま

す。

同時に、心臓自らも、心臓を

とりまいている冠状動脈から血

液を送つてもらい、その栄養分

によつて活動しています。

ところが、これらの冠状動脈

の血管が狭くなつたり、また詰

まつたりすると、血液の流れに

障害が起こり、心臓の機能に異

常をきたします。

これが心臓病で、主なものに

狭窄症や心筋梗塞があります。

価値感の豊富な社会人に

494人が巣立つ……成人式

昭和五十六年の新春、満二十歳おめでとうございます。と心からお祝いする成人式が一月三日町中央公民館で多數の来賓のご列席のもとで四九四人が祝福を受けました。平服での参加が定着した会場では、キャンドル式典が厳粛に行われました。森山典男助役の開式のことばにつき、会場が一斉に暗くなり新成人代表阿世知なるみさんの手にしっかりと握られた“成人の火”が静かに入场し、岩根清春町長に手渡されました。

さらに岩根町長の持つ“成人の火の親火”は下豊留美子さん、山口真弓さん、阿世知なるみさんの三人に分火され“子火”となつて参加した新成人一人ひとりが持つ

ローソクに点火されて“成人の火”はさらに輪を大きく広げました。赤々と燃える“成人の火”的もとで、黒江義郎君が“社会の中堅となり、健全なる身体と豊かな町民性の高揚に努めます”と力強い誓いのことばを述べ、西静夫教育長の“よびかけ”で身をすりへらしてまでも周囲を明るく照らしつづけていた“成人の火”が静かに消されました。会場に明るい照明がとりもどされ、宮内政彦君の手に成人章が、また岩下まさよさ

が、それぞれ町長の手から手渡され会場が拍手で包まれました。

引き続き、お祝いのことばがあり、町長は「“青春の夢”を大切にして、人が社会の一員であるためには、何が尊いのか、価値感の豊富な人格者になつて立派な社会人として、はばたいてほしい」と訴え励ましていました。



今年も安全を守ります

七色のアーチが安全を呼ぶ 恒例の消防出初式

新春のハイライトである恒例の消防出初式が、寒風が吹き度冷えのする（一月六日）多数の来賓、町民の見守る中で規律正しく、勇壮活発に行われました。

午前九時十分懇意塔隣りの西公園を国分自衛隊音楽隊の吹奏する行進曲に合わせ、町中央公民館広場までパレードが行なわれました。

パレードは、内村秀雄三又分団員を先導に自衛隊音楽隊最高指揮官の岩根清石堂五郎氏の閉式のことばで式典は終わりました。これから長い人生の中でも“成人の火”は心の灯としていつまでも燃え続けていくことでしょう。

日本消防協会長表彰及び県消防協会総裁表彰

（優良分団）
平松分団・大山分団
永吉正則団長、松下工・大野富雄の両副
團長、雨乞信本部分

団長が等間隔の足どりで歩き、本部分団小山峯男団員の手にしつかりと握られた団旗が寒風にたなびきながらひるがえっていました。

また、団旗の後に二三分団の分団長を先頭に整列された二〇三人の団員の行進と赤色回転燈を燈火した二一台の消防車が次々と街頭をパレードし沿道からのおしみない拍手に包まれていました。

町中央公民館広場では、消防出初式の式典が行われ、森山典男助役の開式のことばに統いて、国旗掲揚、町長の観閲が行われ、機械装備の点検、分例行進、ポンプ操作等が続き、日頃訓練された機敏な行動が観客の目を楽しませ、盛んな拍手を受けました。

続いて団長の指揮のもとで一四分団が一齊に冬空に向けて放水し七色の虹を描く水のアーチが力強さを感じさせました。

放水演習後団員の表彰及び感謝状が贈呈され、消防業務の重要性を再認識しました。

式典の中で岩根町長は“防火・防水その他の災害時には団員のみなさんの力で被害を最少限度にいく止め、町民に安心感を与えてください”とお礼のことばを述べてくださいことに感謝します。これからもいち早く現場にかけつけ大事にいたらぬようご尽力ください”と励ましと感謝を述べました。

述べられた後、河野通則収入役の閉式のことばで式典は終りました。この日表彰を受けられたかたがたは次のとおりです。敬称略

（30年永年勤続章）

徳丸一光（建昌分団分団長）
高木与四雄（米山分団分団員）
内村光男（下名分団班長）

消防協会総裁表彰
（20年永年勤続章）

比知屋寿雄（北山分団分団員）
志戸岡一見（北山分団分団員）
大平茂（平松分団分団員）
国永拙男（松原分団分団員）
福重照男（建昌分団分団員）

県知事表彰
（10年永年勤続章）
佐藤正義・本村憲行・宮原千年
（本部分団分団員）中間勲（平松分団員）佐藤光夫・村尾忠憲（松原分団分団員）

県消防協会始良伊佐支部長表彰
（25年永年勤続章）

恒吉幹夫（北山分団分団員）
丸訓子さんの四人が新成人としての自覚と抱負を述べ、会場の参加者たちに感銘を与えました。

最後に西京子さんが“今後良き社会人として、より一層研修を重ねて、郷里を思つて一生懸命頑張ります”とお礼のことばを述べて

式典の中で岩根町長は“防火・防水その他の災害時には団員のみなさんの力で被害を最少限度にいく止め、町民に安心感を与えてください”とお礼のことばを述べてくださいことに感謝します。これからもいち早く現場にかけつけ大事にいたらぬようご尽力ください”と励ましと感謝を述べました。

知事代理や加治木警察署長の来賓のことばが続き、団長の答辞が述べられた後、河野通則収入役の閉式のことばで式典は終りました。

この日表彰を受けられたかたがたは次のとおりです。敬称略

（退団者表彰）

村田一夫（元松原分団分団長）
35年5ヶ月

春山国治（元脇元分団分団長）
35年2ヶ月

江口秋水、妻千里子（下名分団
部長）

東清春、妻節子（下名分団
部長）

村田一夫（元松原分団分団長）
35年5ヶ月

春山国治（元脇元分団分団長）
35年2ヶ月

NHKで九州全土に紹介

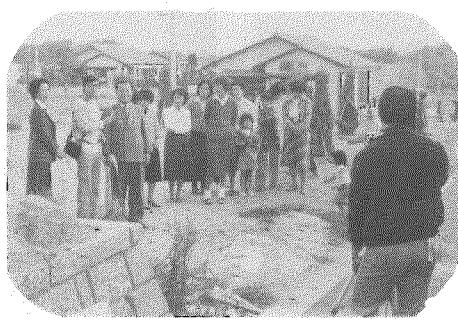
伸びゆく町政を「話題の窓」で

等を取り入れ紹介されました。
全国でも屈指の人口増加の町と

ぬくもりに満ちた緑ある田園都市づくりに力を注ぐ本町を九州全土に紹介しようと、NHKテレビ鹿児島放送局で午前と午後の二回それぞれ十五分間の放映が行われました。

放映された番組は「話題の窓」中継車で「ここにちは」で、放映時間帯も視聴率の高い午前七時三十分からと、午後一時二十五分からの十五分間で全九州の家庭を紹介されました。

鹿児島市の隣接町であり県下唯一の人口増加の町として伸びゆく町政から、県下に一つしかない県自動車試験場、焼酎工場の内部、全国でも珍しい帖佐人形、やきもの、人口の集中する団地や住民の話し



姶良ニュータンでの録画風景

して、発展する手作りの郷土づくりにみなさんの協力をお願いします。

生活を支える 國民年金

国民年金は、老後所得保障の老齢年金ばかりではなく、加入のみなさんが、長い人生の間で不慮の事故にあったときなど、様々なできごとにも役立ちます。

表に掲げるのは、該当するときは、すぐ役場国民年金係で手続きを行なってください。

なお、保険料を三年以上納めた人が死亡した場合、死亡一時金が遺族に支給されます。

年金が受けられるとき	支給対象	年金の種類
65歳になったとき	本人 老齢年金 通算老齢年金	
病気やケガもとで障害者となったとき	本人 障害年金	
夫と死別し、かつ18歳未満の子がいるとき	妻 母子年金	
生計の中心となっていた父、祖父、息子などと死別し、祖母や姉か18歳未満の孫や弟妹をかかえる状態になったとき	祖母又は姉 準母子年金	
父又は母と死別し、孤児になったとき（18歳未満）	子 遺児年金	
老齢年金を受ける条件を満たしていた夫が死亡したとき	妻 (60~65歳) 寡婦年金	



母と子
の会話

「人は人によって人になる」とよく言われます。

子どもは、親はもちろんのこと、幼稚園の先生、隣り近所の人たちなどさまざまな人おとなの接しながら毎日を送っています。

こうした「子どもを取り巻くおとな」の子どもたちに与える影響は大きく、言葉遣いをはじめ、生活態度、ものの考え方・感じ方などいろいろなたちであらわれてきます。なかでも、とくに親の影響が強く、子どもの性格（さら

親の影響

共感の土壤をつくろう

には将来さへも方向づける場合が少なくありません。

子どもは、親が口でいうより先に、親の生活態度、生きる姿勢を敏感に感じとり、自己を形成していくといわれます。たとえば父が仕事に精いっぱい生きぬいている姿をまた、母が誠実に日々の暮らしを営んでいる姿を目のあたりにして、子どもは自らもそのようにありたいと思い、ここに親子の一体的な感情、共感が生まれるのです。

親が口で子どもに言うことと、自らの生活態度にギャップがあるとき、子どもは、とまどいを感じ、時には思わずく

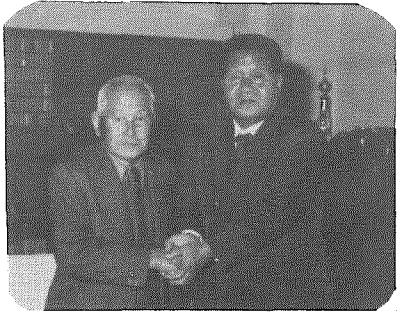


ない結果を招くこともあります。また、親の子どもに対する影響は、親が一方的に与える。というよりも、子ども自身の開かれた心、が相手の思いを理解しようという気持ちとなってあらわれ、自ら影響を受けていくという場合が多いようです。このような親子の共感にもとづく、心の経験、が、子どもの成長の糧となっていくようです。

たとえば、子どもは、自分が大事にされ、愛されているのを知ると、「もっと愛されたい」「愛してくれる人の望みを受けとめ、そのようにありたい」と親の気持ちに応えよ



63年前の古いパスポート



岩根町長（右）と堅い握手を交わす市太郎さん（左）

全国で銀賞に輝く豚さん

また、二人の親戚に合って当時の事柄を話してやりたい。がつりの市太郎さんの甥である田ノ上秀秋さん（南米アルゼンチン在住鹿児島県人会幹事役）に相談され、秀

秋さんの息子さん（13歳）と秀秋さんの奥さんの母親（枕崎出身）と一緒に里帰りされたのです。

一月十二日町長室をおとずれた

市太郎さんは岩根町長は、「海を

へだてたるかかなかのアルゼン

チンで、これからも元気に長生き

して、発展する始良町を見まもつ

ていてください」と激励し堅い握手をかわしました。

「一時の不幸にくじけずに、幸せをつかんでください」と鍋倉自由会にある児童福祉施設若葉学園（里園篤園長）に年末沢山の暖かいプレゼントやボランティア活動が行われました。

若葉学園は現在、幼児一五人、

小学生三三人、中学生一六人、高

校生一七人の計八人が家庭の都

合で郷里を離れ、保母さんや先

たちが親代りとなり、施設で毎日

お互いに助けあって生活してい

ます。

学園では「幼ない頃の不幸は人

生の中で短い期間です。園児であ

ることに誇りをもって学業に励み

他人に迷惑をかけない人となり、

社会人となって社会に役立つ人に

なりました。

この施設にも善意な心のかたが

たが、エンピツ・消しゴム・餅つき・散髪・募金等いろいろな方法

でボランティア活動が町内・町外

善意のみなさんありがとう

『ぼくたち不幸にまけないよ』

から年未行われ施設の子どもたちを喜ばせました。

セをつかんでください」と鍋倉自由会にあります。派出所

のクリスマスには、派出所

のサービスや国分自衛隊の吹奏楽

団による子ども向けの演奏会と歌

などに行われ、地域の人たちも一

緒になり楽しい一日を満喫しま

た。

この施設にも善意な心のかたが

たが、エンピツ・消しゴム・餅つき・散髪・募金等いろいろな方法

でボランティア活動が町内・町外

ます。

特に鹿児島県から出品された黒

豚は、肉質では全国一を誇り、残

飯・残菜で飼える豚として人気が

高く他県からの注目的的でした。

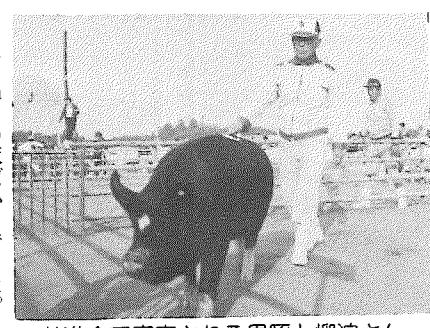
鹿児島県から一頭出品され、

金賞一個、銀賞三個、銅賞七个と

全て出品した豚は入賞し、鹿児島

黒豚の名を全国にとどろかせま

した。



共進会で審査される黒豚と柳迫さん

「ああ……なかしい……重富も変ったなあ……」
六十三年ぶりに見る重富!! 感無量です。

海を越えた南米アルゼンチンのブエノスアイレス市に住んでおられる、上水流出身の坂口市太郎さん（93歳）が元気里帰りしました。

市太郎さんは、三十歳の時単身で大正三年三月二十四日に南米へ向けて神戸港を出航、六ヵ月後の九月二十七日にアルゼンチンに入国されました。

南米アルゼンチンでの生活は、花作りを中心とした農場人夫、漁夫タクシー運転手、庭園人夫等の職を転々と替え、私財を少しづつ蓄えました。

岩根町長（右）と堅い握手を交わす市太郎さん（左）

今では、市太郎さんと苦労を伴にした妻のコマさんも三年前に亡くなり、娘婿夫婦と二人の孫に囲まれ五千平方メートル（五反歩）の温室や野菜農場を営んで観賞用の花栽培に励んでおられます。

今回、六十三年ぶりに里帰りし、郷里の田ノ上勝比古さん（48歳）が朝夕丹念に心をこめて養飼している「黒豚」の名前です。

やつた、エクリプスワタナベ七一六号”外国の地名ではありません。中津野自治会の柳迫光弘さん（34歳）が朝夕丹念に心をこめて養飼している「黒豚」の名前です。

昨年十一月十日から四日間にわたり、千葉県成田市で行われた第九回全日本豚共進会に県代表として出品され、みごと全国の銀賞の代表で受賞を受けました。

今回行われた共進会は、全国的に豚肉の生産調整の期間の中での開催とあって全国から出品された三五〇頭の豚は各県

のえりぬきの豚ばかりでした。

柳迫さんは、親子二代にわたって日夜黒豚の改良に取り組んでおられ、県内でも屈指の養豚農家です。

青信号
（運転者向け）
ゆづくり走つて みませんか
（歩行者向け）
待ちましょく はうはうじき
どき 渡るより
（ども向け）
一人でも まちますきちんと

交通安全スローガン

昭和五十六年

福祉増進の手助け役
53人の民生委員決まる

昭和五十五年十一月三十日で期満了に伴ない、新しい民生委員のかたがたが十二月一日付で厚生大臣から任命され、その伝達が行われました。

民生委員は、社会福祉の増進のために、社会奉仕の精神をもつて身障者・母子家庭・生活に困っているかたや老人など社会的に弱い立場にある人たちの相談相手になり指導や救いの手助けを行うことが任務になっています。

各民生委員は担当区がそれぞれ割り当てられており、地域のみなさんのご協力をお願いします。

また、町内の民生委員は五三人で、任期は三年です。

任命された新しい民生委員のかたがたは次のとおりです。自治会名欄は担当区です。

民生委員及び担当地区調書

氏名	自治会名	電話	氏名	自治会名	電話
久保薦一男	新馬場、古馬場、星ヶ山、鶴田	6-7512	平田 五郎	並木東、並木西	5-2461
城光寺トキヤ	中川原、新町、西田、寺脇	6-7382	上飛田末盛	東原東、東原西、南宮島	5-3515
谷口 武夫	大山西、大山東	6-7425	柏木美智子	錦原東、錦原西、錦江団地	5-2866
玉利ミチエ	内山田、黒瀬南、黒瀬北	6-7655	吉留 春夫	松原上（駅下1、上山）	5-5728
永岩 清男	池平、奈良快、城	6-8152	村田 實行	松原下（寺村）、松原上（町門、大小路、上浜）	5-4135
山崎 ナミ	板ノ口、目木金、瀬戸段	5-4385	松下 嘉子	あさひ団地、松原下（下浜下第一、片馬場、江湖）	5-2381
中島 俊秋	飛野	6-7553	牛嶋 京子	青葉台、朝日ヶ丘	6-0461
宮薦 早苗	馬場、中牧、宮脇	6-8253	皆越 逸子	十日町	5-3672
隈元 秀雄	中甑	6-8442	石川 夏江	松原上（駅下1、地蔵、山ノ口）	5-2821
松下 正行	木場、堂山、山花	6-8468	竹下 甫	梅山、白浜	5-2323
田中フジ子	木津志	6-8304	神野 ヒデ	仲町、坂下、油屋	5-2181
小川小枝子	山元、北野、石ヶ迫	6-8166	川田 進	上ノ上、年平、上ノ東	5-4824
山藤 悟	寺師、黒葛野	7-2021	清水 隆夫	白金原	5-3293
北園 満	住吉、永瀬	6-1331	中森 正行	栌山上、栌山下、白金原の一部	5-3403
古城ハツエ	増田、中津野	5-5775	亀山 魁	口山花、星原	7-3167
増満ハルエ	豊留、深水	6-7371	迫田 種也	堅野	5-4341
川畠 清治	三拾町、水流寺	6-2536	前田ミエ子	原方、紬団地	5-5610
妻鹿タツ子	岩崎、上麓	5-5645	下池トモ子	奥山花、山ノ口	6-0490
安永 よ志	宇都、仮屋	5-3444	安田 早苗	上水流、城瀬、塙見組	5-0463
安田 藤男	納屋、鍋倉	5-0745	小城 房子	城下、森山	5-3390
大重不可止	高樋、上場	5-4757	堀之内義春	触田上、触田下、高牧、福ヶ野	6-0934
豊田 弘	東	5-3460	櫟山 ムツ	山野、重富団地	5-2468
窪田 盛夫	帖佐駅前	5-2473	宮野 良味	池島町	5-0248
藏満 光行	森	5-3727	福田 京子	姶良ニュータウン	5-1724
川原 己美	西ノ妻、建昌	5-4064	森山 久雄	船津上、船津下	5-0870
黒江 久己	楠元、楠元団地	5-3375	福山 廣	春花	5-5829
寺師 武雄	俵原、俵原団地	7-2840			

初もうでは気持よく 奥山花老人奉仕作業

初もうでは気持よく
奥山花老人奉仕作業

田中・加治木町・蒲生町・溝辺町の四町の合同会議で「農地法と農業委員会」と題し、地域の実情について討議が行われました。

水田再編対策による減反や転作が叫ばれ、田・畑は宅地化が進み山間谷間は植林化し、耕作面積が狭まれている状況の中で農業委員に任された農政は非常に厳しいものであります。

初もうでは岩剣神社と十二月十四日地元の奥山花老人クラブ員五三人が総勢で神社の参道の整備や周囲の草刈りを行いました。

岩剣神社は軍神と称し、創建された年月はつまびらかではありませんが天文十一年に建立されたのではないかと思われる古い歴史をもつ神社で、木像二体がご神体として祭られ

あなたの土地利用は正しい地目で使用していらっしゃいますか。日頃、土地利用や農業の指導に尽くしておられる農業委員のかたがたの研修会が町中央公民館で先日行われました。

この研修会は、始良西部（始良町・加治木町・蒲生町・溝辺町）の四町の合同会議で「農地法と農業委員会」と題し、地域の実情について討議が行われました。

水田再編対策による減反や転作が叫ばれ、田・畑は宅地化が進み山間谷間は植林化し、耕作面積が狭まれている状況の中で農業委員に任された農政は非常に厳しいものであります。

あなたの土地利用は正しい地目で使用していらっしゃいますか。日頃、土地利用や農業の指導に尽くしておられる農業委員のかたがたがたの研修会が町中央公民館で先日行われました。

この研修会は、始良西部（始良町・加治木町・蒲生町・溝辺町）の四町の合同会議で「農地法と農業委員会」と題し、地域の実情について討議が行われました。

これらは実情をふまえて、西部四力町の農業委員は、常に前向きに農政を推進しているのです。開発行為の問題、水田再編と山林転用、建築確認申請に伴う農地の取扱い、三千平方メートル以上の農地転用の取扱い、農地法第四条・第五条の許可成地の未着工地の指導方法、農振法と農用地除外の関係やほ場整備との関係等数多くの問題が質疑応答され、お互いの悩みを解決する研修会でした。

正しい土地利用を 四力町合同農委會

のがあります。

これらの実情をふまえて、西部四力町の農業委員は、常に前向きに農政を推進しているのです。開発行為の問題、水田再編と山林転用、建築確認申請に伴う農地の取扱い、三千平方メートル以上の農地転用の取扱い、農地法第四条・第五条の許可成地の未着工地の指導方法、農振法と農用地除外の関係やほ場整備との関係等数多くの問題が質疑応答され、お互いの悩みを解決する研修会でした。

お母さんも歌ったら合唱祭

初もうでは岩剣神社と十二月十四日地元の奥山花老人クラブ員五三人が総勢で神社の参道の整備や周囲の草刈りを行いました。

周囲は大きな神林でおおわれ、老人クラブ員の奉仕作業で神社の周りには、みちがえるほどきれいになりました。島津義弘公が平松在城の時しばしば参詣した神社です。

自然と口に出る歌……生活のリズムを作り出す歌……誰れでも、どこでも歌聲が……ハーモニギターが聞える楽しさ……。日頃、家庭の中では子どもの養育に忙しいお母さんたち、一度合唱の楽しみをしてみませんか。会場一杯に広がる歌の声が美しいハーモニーとなり、そのかいま気分となります。

特別弔慰金(第三回)
戦没者等の遺族に
請求は早めに
昭和五十四年十月より請求書の受付をしております第三回特別弔慰金(十二万円)の請求のすんでないかたは早目に請求してください。



◎該当者：戦没者等の遺族で昭和五十年四月一日から昭和五十四年三月三十日までの間に遺族年金及び公務扶助料の受給権者が死亡等のためになくなった場合で子・孫・兄弟姉妹(子・祖父母・孫・兄弟姉妹)死亡した者の死亡まで引続き一年以上その者によつて生計を維持又は、その者と生計を同一にあつた三親等の親族

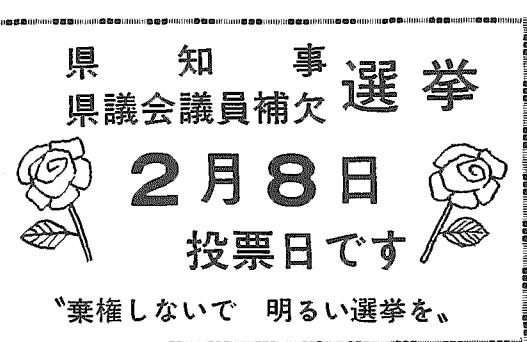
時効は昭和五十七年五月七日までとなつておりますが前回の第二回特別弔慰金(二十万円)時効のため請求を断念されたかたが何人かありましたこの際出来るだけ早目に請求してください。

県議会議員補欠選挙 知事選挙

2月8日 投票日です

『棄権しないで 明るい選挙を』

育委員会が後援となりて行われたものであり、始良郡内で一ヵ所本町の中央公民館が選定され、郡内のお母さんコーラスグループが一堂に集まって合同講習会が行われたのです。



この合唱講習会は、県下で初めて行われたものであり、始良郡内で一ヵ所本町の中央公民館が選定され、郡内のお母さんコーラスグループが一堂に集まって合同講習会が行われたのです。

この合唱講習会は、県下で初めて行われたものであり、始良郡内で一ヵ所本町の中央公民館が選定され、郡内のお母さんコーラスグループが一堂に集まって合同講習会が行われたのです。

この合唱講習会は、県下で初めて行われたものであり、始良郡内で一ヵ所本町の中央公民館が選定され、郡内のお母さんコーラスグループが一堂に集まって合同講習会が行われたのです。